

## は じ め に

この「台東区財政の現況」は、健全な財政運営を積極的に推進するための基礎資料として、また、区の財政状況をご理解いただくため参考として作成しているものでございます。

平成24年度普通会計決算では、歳入において、特別区税は個人所得の減少などにより前年度と比べて約1億4千万円の減収となりました。また、特別区交付金は、前年度と比べて約13億4千万円増加したものの、未だリーマンショック前の水準に回復していない状況が続いております。

一方、歳出では、生活保護や庁舎老朽化対策、災害対策基金への積立などにより、前年度と比べて37億8,630万9千円の増となりました。

財政の弾力性を示す指標として利用されている経常収支比率は、前年度と同水準の87.5%となっており、4年連続で80%を上回っていることから、依然として楽観できる財政状況にはないと考えております。

こうした中、区民の誰もが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、引き続き、積極的な財源の確保と効率的な事業執行を図るなど、将来を見据えた行財政基盤の確立に向けた取組みを行い、健全な財政運営を堅持してまいります。

本書は、平成24年度の決算状況を次の構成でお示ししています。

第1部は、総務省の地方財政状況調査（決算統計）に基づき、特別区税・特別区交付金、区債・基金、性質別歳出決算額、義務的経費やその他の経費などについて、過去10年間の変化や他区との比較などとともに掲載しています。

第2部は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率について掲載しています。

第3部は、発生主義・複式簿記の考え方を導入した、貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書からなる普通会計財務4表及び連結財務4表を掲載しています。

第4部は、事務事業別コスト計算一覧を掲載しています。今年度より新たな項目として指標数値を加えました。

また、巻末に参考として平成24年度において実施した「ゼロ予算事業」を掲載しています。